

# 様式1【総合・小6・「自分の生き方や将来の夢（職業）について考えよう」】①

## 育成を目指す資質・能力(単元)

(知識・技能) ①自分の長所や短所を多面的に捉えることで、将来の夢をもつために必要なことを理解する。②将来の夢について学んだことが、自分の生き方と深く関わっていることを理解する。③将来の夢に向かうために調査したり、体験したりして収集した情報と情報との関係について、図や文章でまとめる方法を身に付ける。

(思・判・表) ①将来の夢について、自分の長所や短所等と結び付けて、課題を設定し、何が必要なかを意識し、解決の見通しをもって計画を立てる。②自分の特徴をよりよく理解するために必要な情報やそのための方法を選択しながら収集できる。③自分に向いている職業を考えるために、複数の情報を比較したり、関係づけたりしながら解決に向けて考える。④伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現できる。

(学びに向かう力等) ①将来の夢について、自分の長所や短所等と結び付けて自らの意思で課題を解決する。②将来の夢に向けて、友達の意見を生かしながら協働して課題解決に取り組める。③将来の夢に向けて、様々な人と関わりながらよりよい生き方を考え行動する。

## ICT活用のポイント

前時のウェビングマップをもとに本時のめあてを考える。

思考ツールを用いて、自分の考えを可視化するとともに、友達の考えを取り入れて瞬時に修正を行い、自分の考えを広げることができる。

### 【追究する】

「自分の好きなところ」をクラゲチャートに記入した後、グループで発表し合う。

### 事例の概要

思考ツールを用いることで、自分の考えを可視化し、自分自身や他者にも分かりやすくなり活動がスムーズに行うことができる。

#### 【事例におけるICT活用の場面①】

・クラゲチャートに付箋を貼るときには、短い言葉で表現させることで、見やすかったり、聞きやすくなったりするとともに、直接的な対話が促進された。また、作成、発表時間の短縮にもつながった。

#### 【事例におけるICT活用の場面②】

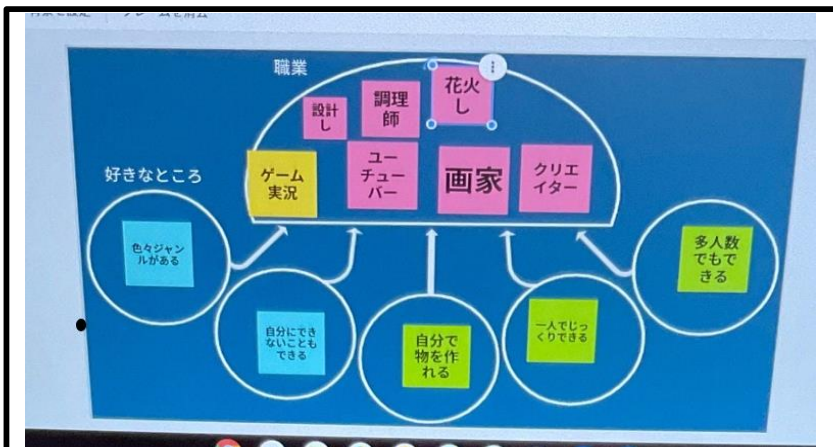
・発表者の画面を見ながら聞き、発表後発表者に向いている職業をクラゲチャートに書かれている「自分の好きなところ」を基に提案する。また、発表者は、提案をすぐに、付箋で記入し、作成したクラゲチャートを修正する。

### 【まとめる】

自分に向いているかもしれない職業について幅広い視点で捉え整理する。

# 【総合・小6・「自分の生き方や将来の夢（職業）について考えよう」】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】



【写真①】（上）

思考ツールを用いて、自分の考えを短い言葉で可視化

## 【事例におけるICT活用の場面②】



【写真②】（左）  
各自で作成した思考ツールを基にした話し合い

- ・自分の考えをクラゲチャートに整理する。
- ・整理する際には、短い言葉で表現させることで、自分自身で自分の考えを視覚的に捉えることができる。
- ・短い言葉で表現させることで、制作や発表時間の短縮につながる。そのため諸活動の時間を確保できじっくり取り組ませることもなる。また、直接的な対話も促進される。
- ・クラゲチャートの作成への支援として、教師が作成したモデルを電子黒板上に常に表示することでスムーズに制作することができる。
- ・付箋の色を分けることにより、友達の意見と自分の考えと違いが比較でき、自分の考えの広がりを実感できる。

- ・発表する場面では、発表者の端末を見ながら、発表を聞く。
- ・発表を聞いた児童は、発表者の端末を指し示しながら、「〇〇と△△は関連あるので、～～という職業も向いている」と話し合いながら、発表者に分かりやすく提案することができる。
- ・発表者は、友達からの提案をすぐに付箋に書き加え、クラゲチャートを更新することで、職業と適正について自分の考えを広げる。

【活用したソフトや機能】: 学習支援ソフト

## 1人1台端末 (学習者用コンピュータ、ノートPC、タブレットPC等のこと) の呼称

「ICT端末」で統一

## 3社共通のソフトについて

教育用に無償で提供されている学習用ソフト

| 使用していただきたい用語 | Apple社   | Google社   | Microsoft社  |
|--------------|--|---|---|
| ウェブブラウザ      | <br>Safari    | <br>Chrome     | <br>Edge         |
| 文書作成ソフト      | <br>Pages    | <br>ドキュメント    | <br>Word         |
| 表計算ソフト       | <br>Numbers | <br>スプレッドシート | <br>Excel      |
| プレゼンテーションソフト | <br>Keynote | <br>スライド     | <br>PowerPoint |

# 1人1台端末の活用事例のGIGAスクール構想における標準仕様について

教育用に無償で提供されている汎用的なソフト（「クラス管理」「チャット」「ファイル共有」等）

| 使用していただきたい用語 | Apple社  | Google社   | Microsoft社   |
|--------------|---|---|--|
| 学習支援ソフト      | <br>クラスルーム | <br>Google Classroom | <br>TEAMS |

標準でインストールされていたり、無料でインストールできたり、ウェブブラウザで使ったりできるソフトや機能（例）

- コメント
- アンケート
- チャット
- 電子メール
- ウェブ会議
- 写真・動画撮影  
(QRコード読み取り)
- 画像・動画編集
- 図形作成
- 地図作成
- 音楽作成
- ファイル共有
- プログラミング